

令和3年度 自己評価公表シート

学校法人 東松山学園
松 山 幼 稚 園

1.教育方針

心身共に健全な幼児の成長発達のために、適切な環境のもと、集団生活を通して幼児の自主性を育み、豊かな人間性を養うべく、この時期に必要な諸能力を開発を助長し、時代の変化に対応できる未来の子ども達を育てる幼児教育を推進する。

2.教育目標

丈夫なからだで元気よく、豊かな心でたくましく、みんなと仲良く遊べる子

3.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
Ⅱ 保育の在り方・ 幼児への対応	・一人ひとりの子ども達の声に耳を傾け、「個性を認めよう」の部分伸ばしながらも、善悪をしっかりと伝え、メリハリを持って接するよう努めた。 ・子ども達と同じ目線に立ち、想いを受け止め丁寧に関わり安心して過ごせる環境づくりを心掛け、子ども達と共に楽しむ保育に取り組んできた。 ・子ども達が自ら行動し考える場面を作り、主体性が芽生えるよう努めた。
Ⅲ 保育者としての 資質や能力・良質・ 適正	・保育者として幼児に与える影響を考え、言葉遣いや態度などに注意しまた、人間としての良識、常識を磨き真摯に取り組んでいる。 ・幼児や保護者との対応には、公平さを欠かさないよう心がけた。
Ⅳ 保護者への対応・ 守秘義務	・子ども達の園での様子等を電話でも伝わりやすいよう心掛けた。また、保護者の気持ちに寄り添いながら、相談事等にも真摯に受け止め対応をした。 ・個人情報漏れないように努め、記録の大切について各保育者の自覚が育っている。

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

コロナ禍の中、質の高い教育を実践できるよう意識し取り組んできた。また、幼児一人ひとりを大切に保育を実践することができた。今後、園全体に対しての気付きを増やし教職員と共有しながら働きかけができるよう課題も明確になった。

5.これから改善したいこと

評価項目	具体的な取組状況
I 保育の計画性	・新教育要領の基本的理解と実践方法を検討する傍ら、保育者同士で意見を交換し合い、より良い幼児教育を模索し、質の向上に努めたい。 ・子どもの望ましい成長の為、意見を出し合い共有をし、計画を立てて臨みたい。
V 地域の自然や社会とのかかわり	・今年度も新型コロナウイルス感染予防の為、地域の方々との交流が持てなかった。 ・状況に応じて園外保育や近所の散策等戸外活動の幅を広げたい。
VI 保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	・コロナ禍での研修ではあるが、オンライン研修を活用し様々な種類の研修に参加し知識、技能のスキルアップに努める。 ・園内研修の時間の確保を心掛け、研修を振り返りながら教職員同士情報を共有し、これからの保育に生かしたい。

6.学校関係者の評価

新型コロナウイルス感染症予防対策を取りながら、地域の自然や社会との関り方等や行事などについても日々の活動に少し変化をつけ、少しでも子ども達の”楽しい”が増えることを願っていると励ましの言葉やアドバイスを受けた。

I 保育の計画性

よくできている まあまあできている あまりできていない まったくできていない

内 容		評価	評価	評価	評価
1、園の教育理念・教育方針の理解		1	2	3	4
①	園の教育理念や教育方針を理解し共感している	33%	67%	0	0
②	園の方針、園長の考え方について園長や主任と話し合い保護者に説明できる	0	100%	0	0
2、幼稚園教育要領・保育所保育指針の理解					
①	幼稚園教育要領、幼児の姿や環境の構成、保育者とのかかわりなど具体的な事例を思いうかべることができる	17%	83%	0	0
3、教育課程の編成と評価					
①	園の教育課程は、幼稚園教育要領・保育所保育指針をふまえ園の教育理念・教育方針に従い編成している	33%	67%	0	0
②	1年間の子どもの成長を振り返り、教育課程を評価している	33%	67%	0	0
③	園の教育課程は、社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている	0	33%	67%	0
4、指導計画の作成					
①	指導計画は、幼児の興味や関心、これまでの生活や予想されるこれからの生活などを考慮し作成している	33%	33%	33%	0
②	行事は、幼児の生活上の意義を十分検討した上で、指導計画に組み入れている	33%	67%	0	0
5、環境の構成					
①	指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような安全で清潔感のある環境構成をしている	33%	67%	0	0
②	楽しい雰囲気の中で、安定して遊び込めるように遊具や用具、素材など質・数量を配慮して環境構成をしている	33%	33%	33%	0
③	幼児の活動がより豊かになるように幼児の発想を柔軟に取り入れ、活動の展開に応じて環境の再構成をしている	17%	83%	0	0
④	幼児の発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている	33%	67%	0	0
⑤	異年齢の幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	0	67%	33%	0
6、保育と計画の評価・反省					
①	自分の保育と評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行っている	33%	67%	0	0
②	お互いに保育を見せ合い、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている	17%	33%	50%	0

《自己評価シート》

Ⅱ 保育の在り方、幼児への対応

内 容		評価	評価	評価	評価
1、健康と安全への配慮		1	2	3	4
①	朝の登園時は特に視診を大切にして幼児の体調が悪くないかを確認している	83%	17%	0	0
②	体調が悪そうな時は静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行いすぐに家庭へ連絡している	83%	17%	0	0
2、幼児のみとりと理解					
①	幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされる様配慮している	33%	67%	0	0
②	一人の幼児をじっくりと見ながら見えない所で活動したり遊んでいる幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することができる	33%	67%	0	0
③	個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解できる	33%	67%	0	0
3、指導とかかわり					
〔心のよりどころとして〕					
①	幼児一人ひとりを観察し、ありのままの姿を受入れ認めるようにしている	83%	17%	0	0
②	幼児との温かなやりとりやスキンシップを常に心掛けている	83%	17%	0	0
③	幼児の話をよく聞くようにしている	83%	17%	0	0
④	“一人ひとり”と“みんな”の関係を常に考え、クラス集団をまとめている	50%	50%	0	0
〔遊び・活動の援助者として〕					
①	幼児が遊びや活動を深めていくためのヒントやアイディアを提供している	67%	33%	0	0
②	幼児をほめたり、励ましたり、めあてをもたせるような言葉かけをしている	83%	17%	0	0
③	禁止、命令、行動を急がせたり、自信を失わせることばや態度はできるだけ控えている	17%	66%	17%	0
〔その他〕					
①	幼児の家庭環境や、これまでの成育歴などを考慮してかかわっている	50%	50%	0	0
②	障がい児が入園した時、個別的対応やクラスの子どもとともに育ち合える保育を積極的に進めるように考えている	17%	66%	17%	0
4、保育者同士の協力・連携					
①	クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉かけや対応をしている。また、情報を共有している	83%	17%	0	0
②	指導上配慮を必要とする幼児については、園の保育者全体で特によく話し合い、共通理解をもって、工夫し対応するようにしている	0	50%	50%	0
③	他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫、保育の形態を取り入れている	0	33%	67%	0

《自己評価シート》

Ⅲ 保育者としての資質や能力・良識・適性(保育者：幼稚園教諭と保育士の総称)

内 容		評価	評価	評価	評価
1、専門家としての能力・良識・義務		1	2	3	4
[専門家としての能力]					
①	保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身につけている	33%	67%	0	0
②	保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている	33%	67%	0	0
③	保育者並びに他職員が仕事の手順を考え、能率よく行っている	17%	83%	0	0
④	保育者の人間性が子ども達に影響を与えることを自覚している	50%	50%	0	0
[良識とマナー]					
①	幼児や保護者との対応には、公平さを欠かないようにしている	83%	17%	0	0
②	朝と帰りのあいさつは明るく親しみを込めて行い、感謝の気持ちを言葉などで表わしている	33%	67%	0	0
③	園の消耗品や教材は節約して使い、私用に使っていない	67%	33%	0	0
④	服装、髪型、身だしなみなど、清潔感のあるものを心がけ、安全性にも気をつけている	83%	17%	0	0
[義務]					
①	教材、教具の管理、点検、園内外の清掃や整理整頓を実行している	50%	50%	0	0
②	締切りのある仕事や提出物の締切日、会議や打ち合わせの時間をきちんと守っている	67%	33%	0	0
2、組織の一員としての在り方					
①	他の意見を素直な気持ちで聞いたり、自分の意見を述べることができる	0	100%	0	0
②	子どものこと、クラスの出来事などで必要なことは園長や主任に報告、連絡、相談している	0	100%	0	0
③	当番や役割による仕事を理解し確実に行っている	17%	83%	0	0
④	上司の指示、命令には責任を持って実行している	50%	50%	0	0
3、まわりを感じ取れる感性・アンテナ					
①	幼児や教育・保育に関する情報を日頃から得ようとしている	17%	83%	0	0
②	社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にしている	17%	67%	16%	0

《自己評価シート》

Ⅳ 保護者への対応・守秘義務

内 容		評価	評価	評価	評価
1、情報の発信と受信		1	2	3	4
①	一人ひとりの子どもについて、家庭での養育方針などを把握している	17%	33%	50%	0
②	クラスだよりなどで、保育実践の内容や意図・クラスや子どもの様子を、写真やイラストなどを活用してわかりやすく伝える工夫をしている	0	100%	0	0
③	個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、連絡帳、電話などを使って伝え合い共通理解を得るように努めている	33%	67%	0	0
④	子どもにとってよりよい環境づくりに努めている	67%	33%	0	0
⑤	保護者との情報交換の内容を、必要に応じて記録している	67%	33%	0	0
⑥	子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するよう努めている	33%	67%	0	0
2、協力と支援					
①	保護者からのさまざまな訴え、要望、意見については安易に受けたり、断ったり無視したりしないで、園長や主任等に報告や相談をしている	33%	67%	0	0
②	必要な場合は、自園の問題の対応や手段について保護者に説明できる	0	50%	50%	0
3、守秘義務の遵守					
①	教職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない	100%	0	0	0
②	秘密情報（保護者・園児等に関する個人情報、および園の運営上の情報、保育技術・保育計画等の情報）については園長の許可なく使用、開示、漏洩していない	100%	0	0	0
③	秘密情報の記録が破損、改造されないように管理している	100%	0	0	0
④	秘密情報の帰属は園または法人にある事を認識し、書類、電子データは持ち帰らないようにし、どうしても必要な場合は持ち出し届出許可書にて園長の許可を取っている	100%	0	0	0
⑤	秘密情報の書類、電子データのコピーは施設長の承認を受けた物のみ、必要最小限にし、必要がなくなった場合は適切に処分している	100%	0	0	0
⑥	秘密情報について新たに知りえたことについては、直ちに園長に報告している	100%	0	0	0
4、対応上のマナー・良識					
①	正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている	67%	33%	0	0
②	親しくなったからといっても、友達同士のような話し方をしていない	67%	33%	0	0
③	電話では、簡潔に要領よく対話する事を心がけている	83%	17%	0	0
④	保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどきちんと対応している	83%	17%	0	0
⑤	長期の欠席や入院等の場合には、見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている	83%	17%	0	0
⑥	保護者の国籍、思想、宗教により、また、子どもの性差、障害、個性差によって、区別、差別していない	83%	17%	0	0
5、クレームへの対処の仕方					
①	保護者からクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している	83%	17%	0	0

《自己評価シート》

V 地域の自然や社会とのかかわり

内 容		評価	評価	評価	評価
1、地域の自然・人々とのかかわり		1	2	3	4
①	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	33%	67%	0	0
②	地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している	0	33%	67%	0
③	子どもの医療や保健に関する問題および地域の住民から受けた子育て相談の内容について、相談および連絡先を把握している	17%	17%	66%	0
④	実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接している	17%	83%	0	0
2、小学校との連携					
①	園の保育内容が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解している	83%	17%	0	0
②	小学校の教育内容について理解するよう努めている	0	67%	33%	0
③	小学生が遊びにくることの出来る場（行事等を含む）を設けている	0	0	100%	0
④	卒業した子どもの情報を得るよう努めている	17%	0	83%	0
⑤	小学校が、園での子どもの育ち等について、どのような情報を必要としているか理解するよう努めている	0	33%	67%	0

《自己評価シート》

VI 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度

内 容			評価	評価	評価	評価
1、研修・研究への意欲・態度			1	2	3	4
	①	研修会や研究会には自己課題をもって参加し、事前にその内容を確認したり自分なりの考えをまとめている	17%	33%	50%	0
	②	自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行うとともに、保育のあり方や悩みについて他保育者や主任、園長と話し合っている	17%	83%	0	0
2、遊具・教材に関する専門性の向上						
	①	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知っている	33%	67%	0	0
	②	園の遊具や教材についてどんな使い方をするのか、どのような使い方が危険か予測できる	33%	67%	0	0
3、園内の環境に関する専門性の向上						
	①	園舎の構造（平屋、二階建て）や保育室・遊戯室の位置・大きさがどのような教育的な意味をもつか理解している	17%	17%	66%	0
	②	園庭や田畑、砂場、かくれ場所などの位置、広さなどがどのような教育的な意味をもつか理解し、保育に生かしている	17%	33%	50%	0
4、今日的課題に関する専門性の向上						
	①	子どもを取り巻くさまざまな状況について、背景・原因・実態はどうであるか興味・関心をもっている	17%	83%	0	0
	②	アレルギー・自立の遅れなど、最近多く見られる問題について興味・関心をもっている	33%	67%	0	0
	③	幼小連携の意義やあり方について興味・関心をもっている	0	100%	0	0
	④	こどもたちの安心・安全に関する危機管理について興味・関心をもっている	33%	67%	0	0
5、自らを高めるための学習						
	①	保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある	17%	66%	17%	0

《自己評価シート》

Ⅷ 地域における子育て支援

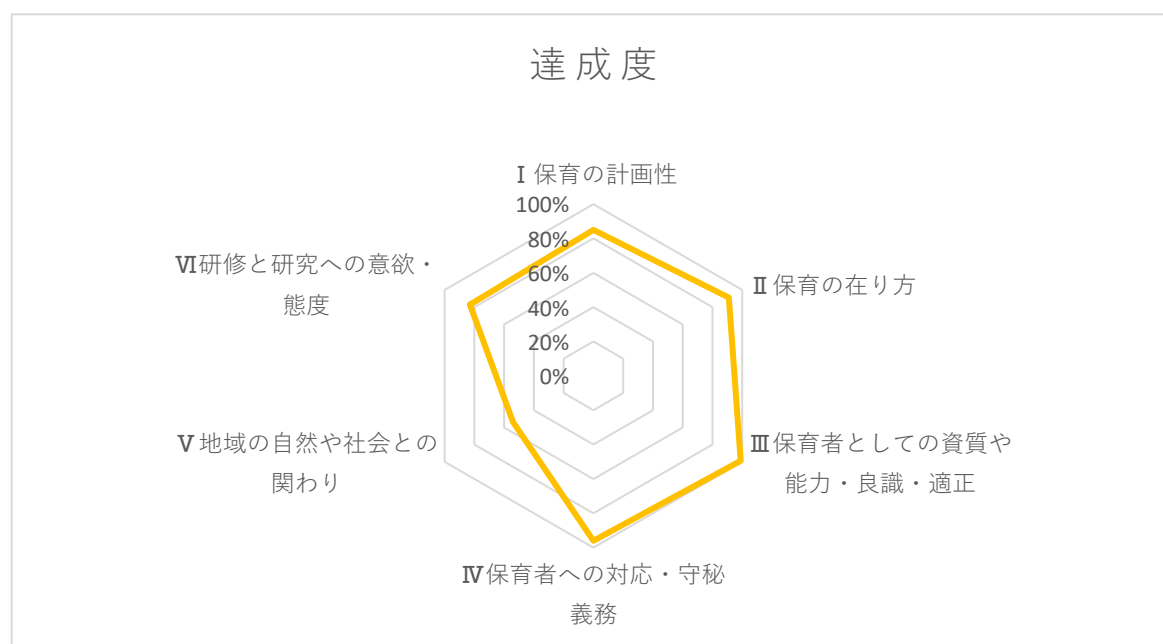
内 容		評価	評価	評価	評価
1、自園の子育て支援事業の理解（全教職員）		1	2	3	4
①	地域開放（親子保育園体験日・行事など）について職員間で共通理解の上取り組んでいる	0	66%	17%	17%
②	自園の子育て支援事業について理解し、利用者にパンフレットやおたよりでわかりやすく説明できる	0	33%	50%	17%
③	親しみやすい雰囲気を心がけ、利用者に積極的に声をかけている	17%	17%	50%	16%
2、環境設定（講座および支援センター事業担当者）					
①	子どもが自分で遊びを考え出して主体性を発揮できる環境を作り、子どもの支援ができる場を作っている				
②	講座等で子育ての学習の機会を設けて、親の支援ができる場を作っている				
③	利用者同士（親同士、子ども同士）の関係が作りやすいよう配慮して、遊びや場の設定をしている				
3、支援の姿勢（講座および支援センター事業担当者）					
①	どの利用者にも公平に接している				
②	利用者同士（親同士、子ども同士）の仲間作りを促し、場の全体に気を配っている				
③	価値観、経験、力量などの利用者の多様性を受入れ、それに合わせた対応をしている				
④	利用者が良好な親子関係を築くことができるように、肯定的に働きかけている				
4、育児相談（講座および支援センター事業担当者）					
①	課題がある親子に気づき、利用者の気軽な相談を大切に受け止めている				
②	専門的な言葉を極力使わずに、日常的な言葉でわかりやすく伝えている				
③	保護者などから問い合わせがあった場合に、自園または地域の子育て資源に関する情報について説明できる				
④	対応が難しいケースの場合に連携すべき専門機関を知っている				
5、支援の評価・反省（講座および支援センター事業担当者）					
①	魅力的な活動、居心地の良い場を維持するために、現状の課題や今後の運営について話し合っている				
②	地域の子育て支援ニーズを把握し、地域に自園の子育て支援事業を紹介している				
③	講座準備等の業務が円滑に進むよう、協力し合っている				

自己点検(教職員編)分析表

令和3年2月18日実施分

松山幼稚園

カテゴリー名	達成度
I 保育の計画性	85%
II 保育の在り方	91%
III 保育者としての資質や能力・良識・適正	99%
IV 保育者への対応・守秘義務	96%
V 地域の自然や社会との関わり	54%
VI 研修と研究への意欲・態度	83%



令和3年度教育に関するアンケート(学校評価)の結果について

過日は、学校評価のアンケートに109名の方にご協力いただきましてありがとうございました。「教育に関するアンケート」の回答につきまして、下記の通り報告させていただきます。

令和3年度 松山幼稚園 教育に関するアンケート(学校評価)

A=当てはまる(そう思う)

B=やや当てはまる(どちらかというと思う)

C=あまり当てはまらない(あまりそう思わない)

D=当てはまらない(思わない)

アンケート内容		A	B	C	D
1	園児は、幼稚園に行くのを楽しみにしている	89	18	2	0
2	園児は、先生と友達とかかわることに楽しさや嬉しさを感じている	96	12	1	0
3	園児は、幼稚園での出来事を家庭で話をする	75	28	5	1
4	教員は、園でのお子様の様子や連絡などを適切に行っている	78	31	0	0
5	幼稚園は、子どもの興味や関心を大切にした保育をしている	82	27	0	0
6	幼稚園は、幼児の年齢に応じて園生活に必要な生活習慣を身につけさせている	96	11	2	0
7	幼稚園は、幼児が自主的に判断・行動できるよう指導にあたっている	80	27	2	0
8	幼稚園は、集団生活の中でルールを守る意識や態度を育てようとしている	100	9	0	0
9	幼稚園は、コロナ禍の中で子ども達の成長に必要な行事や体験活動に取り組んでいる	82	25	2	0
10	幼稚園は、協力して、あたたかく幼児の指導にあたっている	91	18	0	0
11	幼稚園は、清掃や環境設備(園舎・園庭・遊具など)に配慮している	100	9	0	0
12	幼稚園からの連絡(手紙、メール、ホームページ)は分かりやすくなっている	67	37	3	2
13	この園を他の人にも勧めたいですか	73	35	1	0